

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	葉山港
指定管理者	株式会社リビエラリゾート
指定期間	H22. 4. 1 ～ H26. 3. 31
施設所管課	砂防海岸課（横須賀土木事務所）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

施設の魅力向上のため、提案どおりに取り組みを実施し、広報活動などにも積極的に取り組んだ。また、今期は利用者数が前年対比で約8.3%増加している。
 指定管理業務の支出が収入をやや上回っているが、これは人件費や維持修繕費の増加によるものであり、収支状況に懸念がなく良好な管理運営状況であることからB判定とした。

- A：提案を上回る取り組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取り組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取り組みを実施していない。また、提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月9日	11月26日	○	○	○	無	
11月	12月10日	12月21日	○	○	○	無	
12月	1月10日	1月29日	○	○	○	無	
1月	2月12日	2月21日	○	○	○	無	
2月	3月11日	3月25日	○	○	○	無	
3月	4月10日	5月17日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取り組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	平成22年度より（施行期間を含む）実施してきた窓口業務の無休化を継続し、利用者の利便性向上を図る。	平成24年度上半期に引き続き、窓口業務の無休化を実施し、利用者の利便性向上を図った。なお、窓口業務の無休化は平成25年度末まで継続する予定である。

	提案内容	実施状況
2	<p>NPO法人海の駅ネットワークに葉山港を登録海からのエントリーを作る事で、葉山町の観光事業に繋げる。海の駅は、現在全国で約130箇所が登録されている。漁港やマリナーが登録をされており、イベント開催などを定期的実施する事により葉山港の利用促進や地域活性化に貢献する事を目的としている。</p>	<p>2012年11月18日に全国で139番目の海の駅に認定をされた。「はやま港海の駅」の認定式を実施。当日は、葉山町の町会議員や商工会会長など、来賓に列席をしていただいた。認定式当日は、水陸両用バスの試乗会や小型ボートの操船体験などを実施し、海洋普及に繋がるイベントになった。今後については、海の駅の集客イベントを定期的開催する事で、葉山港の認知度を上げる事と、地元の観光や商店の活性化に繋げる様、PRが必要である。</p>
3	<p>利用者の利便性向上のため、平成22年7月より導入したレンタルボート事業を継続して実施する。 ①葉山港通年艇利用者のセカンドボート利用やヨットレースでの支援艇利用など、需要に合わせて利用しやすい艇を選定し、施設利用の促進を図っている。 ②初回利用の際には、安全講習を必ず実施することにより、事故やトラブルの発生を未然に防止している。 ③需要が増えてきたため、24年度からは2艇に増艇して、サービスの向上を図る。</p>	<p>2012年4月より2艇体制になり、増加傾向にあるヨット利用者へのニーズに応える事ができている。艇が増えた事により、利用が分散され、葉山港利用者が使用したい際にスムーズに誘致ができる状態になった。また、イベントの際に無料の小型艇の操船体験（スタッフ付き）をしており、人気のイベントになっている。</p>
4	<p>提案内容の要旨を記載</p>	<p>実績又は今後の見込みを記載</p>
5	<p>提案内容の要旨を記載</p>	<p>実績又は今後の見込みを記載</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		65,000			65,000	64,542	458
予算額	前年度	65,500	0	0	65,500	68,738	▲ 3,238
	上半期	32,750			32,750	34,369	▲ 1,619
	下半期	32,750			32,750	34,369	▲ 1,619
	今年度	65,000	0	0	65,000	66,106	▲ 1,106 ①
	上半期	32,500			32,500	33,053	▲ 553
	下半期	32,500			32,500	33,053	▲ 553
下半期実績額	10月	5,400			5,400	5,131	269
	11月	5,400			5,400	5,076	324
	12月	5,500			5,500	6,137	▲ 637
	1月	5,400			5,400	5,236	164
	2月	5,400			5,400	5,534	▲ 134
	3月	5,400			5,400	5,572	▲ 172
	今年度 下半期合計	32,500	0	0	32,500	32,686	▲ 186 ②
	前年度 下半期合計	32,750			32,750	33,823	▲ 1,073
	対前年度下半期比			③	-0.8%	-3.4%	
参考	今年度 上半期合計	32,500			32,500	33,977	▲ 1,477
	今年度 合計	65,000	0	0	65,000	66,663	▲ 1,663

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	○	利用者の増加により、週末や繁忙期のアルバイト雇用に伴う人件費の増加と不測の維持修繕費への対応のため予算収支はマイナスとなっている。
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	1,204	(給水設備補修工（2箇所）：311千円) (ペンキ塗替工、ベンチ補修工：893千円)
合計	1,204	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	ヨット出艇数	前年同期数	前年同期対比増減率
10月	1,203 艇	1,123 艇	7.1 %
11月	667 艇	855 艇	▲ 22.0 %
12月	503 艇	593 艇	▲ 15.2 %
1月	472 艇	615 艇	▲ 23.3 %
2月	578 艇	737 艇	▲ 21.6 %
3月	1,025 艇	593 艇	72.9 %

	目標数	ヨット出艇数	前年同期数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	7,646 艇	7,824 艇	6,955 艇	2.4 %	12.5 %
今年度下半期計	3,690 艇	4,448 艇	4,516 艇	20.6 %	▲ 1.6 %
今年度合計	11,336 艇	12,272 艇	11,471 艇	8.3 %	7.0 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	5 (0)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	8 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	駐車場の混雑が増えており満車で入れない事が多い。	テレビや雑誌で葉山の魅力が浸透しており、観光目的の駐車場利用も増加している旨を説明した。
	陸置のボートバースについて現在7mバース以上の区画を作って欲しい。	スペースの問題で現在は困難である旨を説明した。
職員対応	海の駅の認定について周知がもっと必要ではないか。何が変わるかわからない。	今後、イベントの際の事前周知を徹底することとした。
	年中無休化について、経費がかかる分が利用料に反映されるのではないか。	経費は指定管理者負担で利用料は神奈川県条例に基づくものと説明した。
事業内容	レンタルボートについて、大型ボートを導入して欲しい。	葉山港の陸置バースの区画内で行っている為、大型艇の導入は不可能である旨を説明した。
その他	通年艇の陸置バースの募集を早くしてほしい。空きがあるのはもったいない。	工事が完工された際に募集の可能性のある事を説明した。

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

諸規程類に基づき、利用承認や維持管理業務を実施し、適正な管理・運営を行っていることが確認できた。

平成24年度下半期の利用者数の推移について、11月から2月にかけて前年同期比で減少しているが、これは前年度に開催した持ち回りの全国大会が今年度は開催していないこと、また、ロンドンオリンピックに向けた練習のため臨時艇の出艇が今年度はないことなどが要因である。一方で3月は前年比で大幅に利用者が増加したが、これは大会を2つ開催したことと全般的に天候がよかったことが要因である。

平成24年11月に全国で139番目の「海の駅」に認定され、認定式当日には水陸両用バスの試乗会などイベントを実施した。一方で海の駅の認定について周知がもっと必要ではないかとの意見も寄せられており、今後は集客イベントの定期的な開催とともに、イベント開催について事前の周知を徹底することとしている。